

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31年 月 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島大町校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|---------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 教室を個室で設計し、人数に応じて割り当てている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 適切である。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | 施設内を福祉事業で使用することを想定し、改装している。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 会議を行い、職員の意識向上に努めている。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | アンケート結果をもとに、改善策を検討している。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 公開している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | 第三者から、改善案等のアドバイスを頂いている。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 月に1階他校舎と連携し、研修・会議を実施している。 |
| | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 利用後に10分間のフィードバック、話し合いを行っている。それをもとに、支援計画を作成している。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 状況に応じて、ツールを使用している。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 利用開始時、全職員で方向性に関する会議を行う。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 状況に応じて、変更している。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 毎回のフィードバック、話し合いをもとに、変更している。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | | ○ | | 月に1度、イベントとして自由参加の集団療育を実施している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | ミーティングを実施し、情報共有を行っている。 |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|--|---|
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | ミーティングを実施し、情報共有を行っている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 支援シートを作成し、職員間で共有している。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 半年に1度実施している。保護者からご要望があれば、随時実施している。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | 状況に応じて、支援している。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 管理者を中心に行っている。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | ご要望に応じて、管理者を中心に行っている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | 状況に応じて、医療機関と連携している。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | ご要望に応じて、管理者を中心に行っている。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | | 31年4月開所のため、まだ卒業した利用者がいない。今後卒業する場合には、行う。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 専門機関との連携を行っている。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | 月に1度のイベントについては、外部利用も可としている。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 管理者を中心に、協議会に参加している。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 利用後に10分間のフィードバック、話し合いを行っている。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | ご要望に応じて、行っている。 |
| 保護者への | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 保護者に伝わりやすいよう、丁寧な説明を行っている。 |
| | ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 面談・電話を通して、随時行っている。 |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|
| 説明責任等 | ③② | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | ご要望に応じて、行っている。 |
| | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 担当職員を配置し、管理者を中心に迅速に対応している。 |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | ○ | 定期ではなく、必要に応じて発信している。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | 契約時に、保護者へ個人情報の取り扱いについて説明を行い、書類は鍵付きの棚に保管する等、留意している。 |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 事例検討会議を行い、職員の意識向上に努めている。 |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | 月に1度のイベントについては、外部利用も可としている。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | 月に1度、防災・防犯訓練を行っている。今後は保護者に対して、訓練の様子を伝える媒体を作成する。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 月に1度、防災・防犯訓練を行っている。今後は保護者に対して、訓練の様子を伝える媒体を作成する。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 月に1度、事例検討会議を行い、職員の意識向上に努めている。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | 契約時に保護者に伝え、記載している。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | 食品を扱う際には、事前にアンケートを通して、アレルギーの確認を行い、留意している。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | 事例検討会議を行い、職員の意識向上に努めている。 |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 月 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島大町校 保護者等数（児童数） 16 回収数 10 割合 62.5 %

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|----|-----------|-----|----------------|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 10 | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 9 | | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 3 | 6 | 1 | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 7 | 1 | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 8 | 1 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 4 | 4 | |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 10 | | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 9 | 1 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 6 | 4 | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 6 | 3 | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | 5 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 9 | | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 9 | 1 | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 10 | | | |

| | | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|--|
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 4 | 3 | 3 | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 1 | 7 | 1 | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 8 | 2 | | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 9 | 1 | | |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。